

「4つの力」を子どもと共有する授業の案

【作成：東山梨地区】

I 学習指導要領の内容

〈小学校 図画工作科 第6学年 A表現及びB鑑賞〉

II 題材名 「墨のよさや面白さを発見しよう」

III 授業の立案

- 1 提供支部名 東山梨地区
- 2 責任者

IV この題材のセールスポイント

- 児童が墨の濃淡やかすれ・にじみなどを体験することで、墨にも色のあることに気づくことができる。
- 「伝え・受け止めよう」の鑑賞の能力で、自分の作品の見所を伝えたり、友達作品から墨の面白さを感じ取ったりして、それを自分の作品に生かしていくのにとっても有効的であった。

V この題材を成功させるために留意する点

- 墨絵＝水墨画の考えを取り払う。
- 墨のにおいが感じられるようにする。スペースを確保し、児童が活動するのに十分な墨を用意しておく。
- 自分の表したいものや思いが伝えやすいように、描画用具や用紙のサイズ・材質など児童に体験選択させることで、墨のよさや面白さに気づくことができる。

VI この題材に必要な材料や用具

- ・墨（墨汁） ・用紙（サイズや材質の異なるもの）
- ・描画用具（習字用の筆以外のものを何種類か用意）
- ・墨入れ（個人個人で活用できるもの） ・ブルーシート（フロアーに敷く）
- ・デジタルカメラ（友達作品を鑑賞する際に活用）

VII 授業の内容

1 題材名 「墨のよさや面白さを発見しよう」【第6学年 A表現及びB鑑賞】

2 題材設定の理由

この時期の子供たちは、表現の学習においては、一定の見通しをもって活動に取り組むこと

ができる。さらに、友達の作品のよさや自分の考えとは異なる点を見付けて、そこから思いを汲み取ったり、素材や色の扱い方などのよさに気付いて、それを自分の表現に生かしたりすることができる。また、鑑賞して気付いたことや想像したことなどを友達に話して、共感し合ったりする姿が見られる。

この題材においては、そうした子供たちの造形作品に対する見方や感じ方を生かして、墨で表すことのよさや面白さなどについて友達と語り合うことにより、見ることへの関心をさらに高め、一人一人の感じ方や見方をいっそう広げていくことを意図している。

そこで、本題材においては、子供たち自ら、思うがままに墨で表す活動を試み、そこからいろいろな表現方法に気付くとともに、感覚や感性を働かせて、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を展開していけるようにした。

墨そのものは、単色であるが、水の加減により様々な色を感じさせる。また筆の種類や動かし方によって、かすれたり、にじんだりといった様々な表情を表すことができる。種類の異なる墨や、いろいろな用具を使い、おもいのままに手を動かし、その活動を通して生まれてくる墨による表現のよさや面白さを友達と共感し合い、創造的に学習活動が展開されるようにしたい。また、日本の美術文化の理解に関わって、墨による線、にじみ、かすれ、濃淡など美しさを味わうとともに、画面の余白を大切にするとといった伝統的な空間表現の方法等に気付く機会にもしたい。

3 題材の目標

- 表現活動を通して、墨や描画用具による濃淡、にじみ、かすれ、また、形、線、動きなどの造形的な面白さに気付く。
- 墨や描画用具の特徴を生かし、様々な表現方法を試み、それらを組み合わせるなどして、楽しく構成して表す。

4 示した「4つの力」と題材の評価規準

観点	〈A表現 及び B鑑賞〉			
	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や想像の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
	「墨を楽しもう！」	「考え・広めよう！」	「工夫しよう！」	「伝え・受け止めよう！」
題材の評価規準	<p>〈表現〉 墨による様々な表し方を試み、自らの思いや意図を表すことに取り組もうとしている。</p> <p>〈鑑賞〉 自他の作品の表し方のよさなどを、自分の思いに照らして楽しもうとしている。</p>	墨による様々な表し方に気づき、自らの思いをもって、表現方法を考えている。	墨による様々な表現方法や多様な描画用具を意図的に選択し、工夫して表そうとしている。	参考作品や友達の作品を見合ったり、話し合ったりして、墨で表すことの楽しさや面白さを捉えている。

学習活動の評価規準	<p>〈表現〉 墨による多様な表現を試みることを楽しんでいる。</p> <p>〈鑑賞〉 友達の表し方のよさや自分とは異なる表現等に気付き、そのよさや面白さを味わおうとしている。</p>	<p>墨による様々な表現方法に留意しながら、自らの思いを生かす表し方について思い巡らせている。</p>	<p>墨の濃淡、にじみ、かすれ、形、線、動きなどの多様な表現や、筆など描画用具の違いによる表現の変化等を生かして、自らの思いを表そうと工夫している。</p>	<p>自他の作品を見て、発見したり、感じたり、思ったりしたことを伝え合い、墨で表すことのよさや面白さを味わっている。</p>
-----------	--	---	--	--

5 指導と評価の計画（全3時間）

- 1次 1時 ・思いのままに様々な描画用具や、墨の濃淡、にじみ、かすれ、また、形、線、動きなどを試み、その面白さを味わう。
- 2時 ・墨による表現が面白い作品を見付け、それらを中心に小グループで鑑賞会を行う。
- 3時 ・友達との鑑賞の後、墨による様々な表現や描画用具による表現の違いなどを生かして、表現方法を工夫する。

時間	学習活動	評価規準				◆評価と◇支援
		ア	イ	ウ	エ	
45	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1次 1時</div> ○思いのままに墨で表すことの面白さや楽しさを味わう。					<p>◆ア, イ 【行動観察・発言・ワークシート】</p> <p>◇材料・描画用具については、個々に選択できるよう何種類か準備しておく。また、用紙のサイズに合わせて活動できるよう広いスペースを用意しておく。</p> <p>◇水の量を調節したり、描画用具の違いによって、様々な表現ができることに気付くようにする。</p>

45	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1次 2時</div> (本時) ○友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取る。	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1次 3時</div> ○ 様々な描画用具や墨の濃淡，にじみ，かすれ，また，形や線，動きなどを生かし，表現方法を工夫して表す。	◆ア，エ 【行動観察・発言・ワークシート】 ◇「見つけた墨のよさや面白さ」の発表会で，様々な描画用具や，墨の濃淡，にじみ，かすれ，また，形や線，動きなどに着目しながら，感じたことや，思ったことを発表し合うようにする。	◆イ，ウ 【行動観察・発言・ワークシート】 ◇自らの思いを確かめながら，様々な表現を試みたり，異なる描画用具を試したりするとともに，友達のの表し方を参考したりしながら工夫して表すようにする。
----	--	---	--	---

☆評価については太線（ ）で示してある箇所为重点的に行う。また，点線（ ）のように，全過程を通して多面的に行っていく。

6 この題材における授業の例（第1次 第2時間目）

- (1) ねらい
- 友達の作品を鑑賞し，様々な描画用具の効果や，墨の濃淡，にじみ，かすれ，また，形や線，動きなどのよさや面白さに関心をもって見る。
 - 表現や表現に込めた友達の思いを知るとともに，自らの思いを明確にして，表現への意欲をさらに高める。
- (2) 本時に示した「4つの力」

「墨を楽しもう！」	「考え・広めよう！」	「工夫しよう！」	「伝え・受け止めよう！」
-----------	------------	----------	--------------

(3) 本時の評価基準

ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や想像の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
〈鑑賞〉 友達の表し方のよさや自分とは異なる表現等に気づき，そのよ			自他の作品を見て，発見したり，感じたり，思ったりしたことを伝え合い，墨で表すことのよさや

さや面白さを味わおうとしている。			面白さを味わっている。
------------------	--	--	-------------

(4) 本時の展開 時間前に全員の作品をひと通り見ておく

過程	学習活動	支援と評価
	○教師の働きかけ ☆児童の反応や活動	◇：支援 ◆：評価 【 】：評価方法 ○：指導上の留意点
5分	1 今日の活動の概要を知る。 ○「自分の作品には無かった色や、表現方法を見つけ出そう。」 ☆面白いとか、いいなと思うものを見つければいいのかな？	○本時の活動が楽しみになるような、言葉がけをする。
	「墨のよさや面白さを発見しよう」	
15分	2 友達の作品を鑑賞し、墨で表すよさや面白さに気づき、表現への意欲を膨らませる。 ○グループに分かれ、友達の作品を見ながら、見付けた墨のよさや面白さについて聞き、自分が感じたことや思ったことと併せてワークシートに書いてみましょう。 ☆線のかすれ方がダイナミックだ。 ☆墨の濃淡の使い方が面白いな。 ☆にじみを上手に使っているな。など	◆ア、エ【行動観察・発言・ワークシート】 ◇描画用具の違いや、墨の濃淡、にじみ、かすれ、また、形や線、動きに着目し、よさや面白さを発見するように促す。 ◇ワークシートに書き込めないでいる児童には、形や色の表現方法について書くように促す。
10分	○グループごとに、ワークシートに書いたことを互いに伝え合い、それぞれの表し方のよさや面白さなどを確かめましょう。 ☆線のかすれ方がダイナミックだ。 ☆墨の濃淡の使い方が面白いな。 ☆にじみを上手に使っているな。 ☆	○児童の発言を賞賛したり、共感したりしながら、手助けをしたりする。 ◆ア、エ【行動観察・発言・ワークシート】 ◇伝え合いに進んで参加していない児童には発言の機会を与えたり、発表の手助けをしたりする。

7分	<p>☆</p> <p>○グループで出した話をまとめ、みんなに伝えてください。</p> <p>☆にじみとかすれを上手に使い分けているところがステキだ。</p> <p>☆墨の濃いところが一番表したいところなのかなと思った。</p> <p>☆自分は作品の広がりを感じたが、友達は迫り来る何かを感じたと捉えていた。</p> <p>☆墨の濃淡で明るさを表現していたと思ったが、実際はもっと奥深いところを表現しようとしているのではないだろうか。</p>	<p>○墨の濃淡や、描画用具によっても感じ方が変わることに着目させる。</p>
5分	<p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>○本時を振り返りながら、次時に試してみたいことを振り返りカードに書こう。</p> <p>☆かすれを使って表現してみたいな。</p> <p>☆墨の濃淡に気を付けて表現してみたいな。</p> <p>☆紙のサイズを工夫してみたいな。</p> <p>☆にじみやぼかしなどで気持ちを表現してみたいな。 など。</p>	<p>○友達からもらった意見なども、参考にして書くように助言する。</p> <p>○次時の活動を知らせ、意欲付けをする。</p>
3分	<p>○参考にしたい友達の作品をもう一度見ておこう。</p>	<p>○終わった人から、最後にもう一度作品を鑑賞させる。</p>

[用意する材料・用具]

- ・ワークシート
- ・発表資料
- ・デジタルカメラ

VIII この題材を作成するに当たっての成果と課題

【成果】

- ◎まず描かせることで、児童の関心が墨のにおいや濃淡に向き、本時の目的とする墨のよさや面白さに迫ることができた。
- ◎異なった紙のサイズや種類を用意したことで、伸び伸びと活動でき、紙面の空間から見とれる墨の濃淡やそこに表される表現の面白さを知ることができた。
- ◎友達の作品を鑑賞することによって、子供同士で技法や着色（濃淡）の面白さに気づき、自分の物として取り入れようとするすることができた。

【課題】

- ▲鑑賞を3グループに分け、ポスターセッション形式で行ったが、表現に込めた一人一人の思いを知るためには、鑑賞方法の工夫が必要かと思われる。

IX 添付資料

- ①ワークシート、振り返りカード

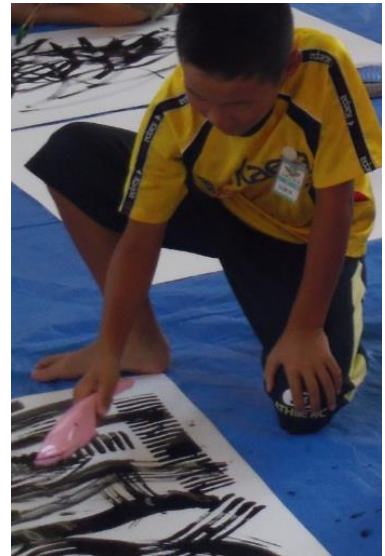
() さんの作品の説明を聞いて、 感じたり・思ったりしたことをメモしよう。
☆色(濃淡)
☆形(描き方)
☆作品の説明を聞いて感じたこと・思ったこと

「墨のよさや面白さを発見しよう」

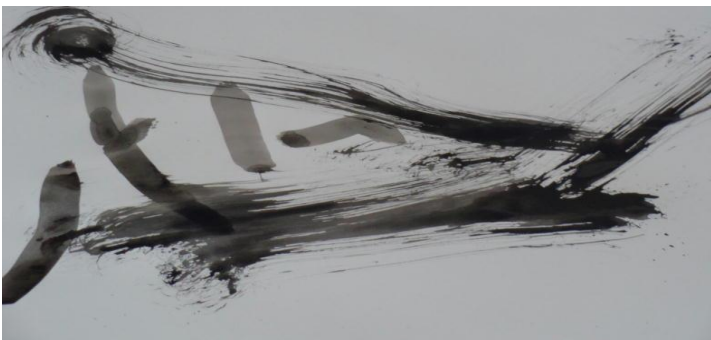
名前 ()

◎気がついたこと，思ったこと，感じたこと，友達のこと，自分の作品のことなど，振り返って感想を書こう。

活動の様子（第1次）



活動の様子（第2次）





「墨のよさや面白さを発見しよう」 例

これから、わたしの作品について、説明します。
わたしは（自分の名前）と言います。よろしくお願いします。

描画用具は（はけ ）や（ブラシ ）を使いました。
墨は（茶墨・靖墨・日常使っているもの ）を使い、水の量を調節してみました。
普段墨は書写の時間に文字を書くものとして使用していましたが、実際に描画用具や墨の量で調節しながら、線や点、など文字以外のものを画いてみて偶然にできた模様にとっても興味を持ちました。その中でも、（はけ・ブラシ・茶筌・・・・）で画いた線の（かすれ・にじみ・・・・）がとても気に入り、その（線・にじみ・点・・・・）を中心にして（喜び・悲しみ・楽しさ・怒り・・・・）を表現してみました。
（線と線の重なったところ・ダイナミックなかすれ・にじみの上に画かれた線・・・・）に注目してみてほしいと思います。

作品のタイトルは「 」としました。

これでわたしの作品についての説明を終わります。

聞いてくれて、ありがとうございました。

「墨のよさや面白さを発見しよう」

これから、わたしの作品について、説明します。

これで、わたしの作品についての、説明を終わります。

聞いてくれて、ありがとうございました。